

2019年度保護者会アンケート結果概況

IR室より

このアンケートは、2019年10月に実施した保護者懇談会アンケート結果から、本学の教育内容に関する3項目を抜粋したものです。

懇談会に出席された保護者のおよそ95%の皆様方には、本学(大学、短期大学部)の教育活動にご満足(“満足”と“やや満足”の合計)をいただいている結果となりました。

学生に身に付けさせたい能力については、大学では「専門性」が一番高く、次に「自己判断能力」、「コミュニケーション能力」の順でご回答をいただきました。短期大学部では、「専門性」と「コミュニケーション能力」が高く、次に「自己判断力」の順にご回答をいただきました。この設問では、前年度より、「教養」に代わって「自己判断力」のご回答が増加傾向にあります。このことは、大学入試改革が進められる中で学力の3要素を求められる時代背景もあり、学生だけでなく保護者としても「自己判断能力」が重要であるという認識が広がっていることがうかがえます。

本学が今後さらに充実すべきことについては、大学では、「専門性」が一番高く、次に「語学力」、「コンピュータ活用力」の順にご回答をいただいております。また、短期大学部については、「教養」が一番高く、次に「語学力」、「コンピュータ活用力」の順にご回答をいただいております。

これらの結果から、保護者の皆様には、知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤となる知識基盤社会の中で、個人の能力を最大限に引き出し、一人一人が国家社会の形成者として社会に貢献しながら自己実現を図り、よりよい人生を生きられるような能力の養成が求められていることがわかりました。

本アンケートで得られました貴重なデータは、本学の教育内容の充実のための貴重な資料とさせていただきます。

ご協力いただきました保護者の皆様方に厚くお礼申し上げます。